

新年の決意新たに 「自分達の村は自分達で守る」



昨年は幹部のみが出席する形で行われましたが、今年は2年ぶりに通常形式での実施となりました

1月9日、『いいいて希望の里学園』の体育館で、令和4年飯館村消防出初式が行われ、村の消防団、女性消防隊、役場消防隊ら合わせて97人が参加しました。式の中で杉岡村長は「実り豊かな年になるよう、火災0件を目指して尽力してほしい」と述べ、赤石澤傳団長（飯樋町）は「消防団の活動を通して住民の安全を守るよう職務執行すること」と村を守り続けるための決意を述べました。式の後には永年勤続の表彰が行われ、14人が表彰されました。

『ふくしま駅伝』初出場から20年 連続出場の栄光を称えます

昨年12月23日、社会福祉協議会の大内龍太郎さん（佐須）が「市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）連続20回出場賞」を受賞しました。走ることが好きになり始めた中学3年生の時、『ふくしま駅伝』に初出場。それから20年間、飯館村チームの一員として走り続けています。現在も朝と夜に走ることを欠かさない大内さんは「高校、大学と競技を続け、記録が出るうれしさと楽しさを知った」と話します。村民に元気を与えてくれる『ふくしま駅伝』への熱い想いは、この先も変わりません。



大内さん（中央）は「自分でもここまで続けられると思わなかった」と20年間を振り返ります

みやぎ生協・コープふくしまと 協力協定を締結しました



協定の締結式は1月14日に村役場で行われました。記念撮影に応じる野中副理事長（右）と杉岡村長

村は、みやぎ生協・コープふくしまと協力協定を結びました。この『地域見守りの取組みに関する協力協定』は、定期宅配サービスを行うコープふくしまの職員が、宅配先の異変に気づいた際に関係機関への連絡を行うなど、地域の見守りに協力するというものです。野中俊吉みやぎ生協副理事長は「震災前からつながりの深い村の役に立てれば」と抱負を話しました。コープふくしまの宅配サービスを利用されたい方は、福島南センター ☎024-545-1636 / ☎0120-88-0174までお問合せを。

工作で学ぼう！ LEDサイエンスワークショップ

1月7日、学童保育「つくしんぼハウス」で、『LEDサイエンスワークショップ』が行われました。「福島大学つくしまふくしま未来支援センター」が主催した今回のワークショップは、工作を通してLEDについての学びを深めることを目的に実施され、学童保育に通う児童と先生方12人が参加しました。電池・磁石・銅線でモーターを作り、完成した「オリジナルLEDオブジェ」にイタネちゃんが映し出されると、児童達はうれしそうにオブジェを眺めていました。



福島工業高等専門学校の植英規教授（後列右から3番目）に教わりながら、楽しく取り組みました

萩シェフ料理教室 「そうそう6次化ラボ」



萩春朋シェフ

洋風おこわと
カボチャのニョッキ

1月21日、県主催『そうそう6次化ラボ』の料理教室が「いちばん館」で開かれ、食材加工や調理に携わる村民7人が参加しました。講師は『Hagiフランス料理店』（いわき市）オーナーシェフの萩春朋さん。生産者とつながり福島の食材の魅力を発信しています。料理教室では、萩シェフ考案のレシピで、もち米「あぶくまもち」を使った洋風おこわとカボチャ「いいいて雪っ娘」を使ったニョッキを調理。参加者は親しい雰囲気の中で料理を仕上げ、「楽しく学べた」「これからの活動に生かしたい」と話していました。

新田川流域の 水害防止に努めます

1月7日に『第1回新田川流域協議会』が南相馬合同庁舎で開かれました。この協議会は、気候変動による降雨量の増大と水害の激甚化・頻発化に備え、新田川流域全体のあらゆる関係者が共働して、流域全体で水害を軽減させる治水対策「流域治水」を計画的に推進するものです。今後「流域治水」を計画的に推進するため、定期的に協議会を開催し、協議・情報共有を図り新田川流域の被害防止・軽減に資する河川整備・水害対策を検討していきます。



協議会は南相馬市・飯館村・相双地方振興局・相双建設事務所・相双農林事務所・国土交通省・気象庁で構成